

各公園のめざすべき姿（素案）

令和元年 7月

大阪府

『各公園のめざすべき姿（素案）』 目次

I.	『各公園のめざすべき姿（素案）』 策定の背景	・・・ P 1
II.	『各公園のめざすべき姿（素案）』 策定の目的	・・・ P 1
III.	『各公園のめざすべき姿（素案）』 の対象公園	・・・ P 2
IV.	各公園のめざすべき姿	・・・ P 3
	1. 服部緑地	1 1. 蜻蛉池公園
	2. 久宝寺緑地	1 2. 箕面公園
	3. 住吉公園	1 3. 枚岡公園
	4. 住之江公園	1 4. 長野公園
	5. 大泉緑地	1 5. 浜寺公園
	6. 山田池公園	1 6. 二色の浜公園
	7. 寝屋川公園	1 7. りんくう公園
	8. 深北緑地	1 8. せんなん里海公園
	9. 錦織公園	
	10. 石川河川公園	

『各公園のめざすべき姿（素案）』策定の背景と目的

1. 『各公園のめざすべき姿（素案）』策定の背景

- ・国土交通省が2016年5月にとりまとめた「新たなステージに向けた緑とオープンスペース政策の展開について」や、大阪府都市計画審議会が2016年2月に示した「大阪府における都市計画のあり方（答申）」を踏まえ、「ストックの活用」や「民との連携」など府営公園の運営に不可欠な視点や、公園を運営するための新たな制度の導入など、これからの時代にあった府営公園づくりをすすめるための新たな方針（マスタープラン）を策定することにしました。
- ・人口減少や少子高齢化の進行、ライフスタイルの多様化など都市を取り巻く社会情勢の大きな変化や、今後の公園緑地に関する国の考え方、大阪府の都市づくりのあり方などを踏まえ、都市計画審議会では、今後の都市計画公園のあるべき姿について検討を進め、2018年10月に「都市計画公園のあり方（提言）」をとりとまとめられました。
- ・その提言を踏まえ、府営公園の基本的な整備・管理・運営の方向性を示すことを目的に「大阪府営公園マスタープラン」を2019年3月に策定しました。

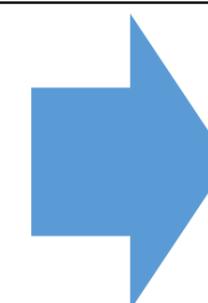
2. 『各公園のめざすべき姿（素案）』策定の目的

- ・『各府営公園のめざすべき姿（素案）』は、「大阪府営公園マスタープラン」で定めた4つの目標像を実現させるため、“大阪府営公園における新たな管理運営制度の導入に向けた事前事業提案募集”（以下、「事前事業提案募集」と記載）を実施するに当たり、各府営公園の”めざすべき姿”の素案を示したものです。
- ・今後、事前事業提案募集での事業者からの提案、外部有識者等の意見を踏まえて、めざすべき姿を整理し、そのめざすべき姿を実現させるための具体的な取組方策をあわせて、公園ごとに「府営公園マネジメントプラン」をとりとまとめることとしています。

大阪府営公園マスタープランの概要

◆策定の背景

- ・社会情勢の変化：人口減少や少子高齢化の進行、ライフスタイルの多様化 など
 - ・府営公園の課題：多様化する地域課題への貢献、老朽化した施設や過密化が進む樹木の維持管理 など
 - ・大阪府における都市計画のあり方（答申）（H28年2月）：「都市のストックを活かしながら、より質の高い都市づくりを進めていくべき」
 - ・国の動向：新たなステージに向けた緑とオープンスペース政策の展開について（H28年5月）
[重視すべき観点]「ストック効果をより高める」「民との連携を加速する」「都市公園を一層柔軟に使いこなす」
- ⇔大阪府公園基本構想（H5年11月）：整備中心の計画（27公園2,400haの開設を目標）、指定管理者制度やPark-PFIなどの新たな制度への対応が必要



◆都市計画公園のあり方（提言）

（H30年10月）

多様化する都市・まちづくりの課題改善に向けて、**公園を最大限活用するという視点で府営公園を中心に検討**

▶ **新たな制度を活用しながら、都市や地域、利用者の多様なニーズに対応できる管理運営を中心とした新たな計画（マスタープラン）を策定**

◆策定の目的

「都市計画公園のあり方（提言）」を踏まえ、今後10年間における**府営公園の整備・管理・運営の基本的な方向性**を示す。

◆府営公園の基本理念

- ・都市の風格を高めるみどりのネットワークの拠点
- ・安全・安心で快適な暮らしを支える重要な都市基盤
- ・多様な個性で都市の活力と魅力を高める 府民共有の資産

◆計画期間

概ね30年後の2050年を見据えた10年間（2019年～2028年）

◆対象

現在開設している19府営公園

◆目標像と、それを実現するための基本方針

【成果指標】・来園者数 2,245万人(H29) ⇒ 2,470万人（1割増） ・利用者満足度 37～72%(H29) ⇒ 47～82%(各公園10%増)

（目標像）

- (1)大阪の**活力と魅力**を高める公園
- (2)府民の**豊かな生活**を育む公園
- (3)府民の**安全・安心**を支える公園
- (4)都市の**自然環境**を次世代に継承する公園



（基本方針）

- ①公園の特色を活かし育み、**都市の顔**となる公園づくりを推進
- ②民間活力の積極的導入により、**地域に貢献し、都市の活力**を生み出す公園づくりを推進
- ③府民の命を守り、**安全・安心・快適**に利用できる公園づくりを推進
- ④多様な自然とふれあい、**都市の環境を保全**する公園づくりを推進

（取組みの方向性）

- ・各公園の特色を活かす取組みの推進
- ・民間の資金とノウハウの活用拡大と民間活力を導入しやすい環境の整備
- ・民間事業者から収益を還元する仕組みづくり
- ・地域課題に応じた施設・イベントの実施
- ・ニーズの変化に対応できる制度の導入
- ・防災公園の整備推進
- ・地域防災力を高める取組みの推進
- ・公園施設の維持管理の充実（長寿命化計画に基づく施設の予防保全、樹木の適切な管理）
- ・ユニバーサルデザインの推進
- ・豊かな自然環境の保全と活用の推進
- ・生物多様性の確保
- ・省エネルギー型・資源循環型の公園づくり



◆都市・まちづくりを先導し続ける戦略的な整備・管理・運営の仕組みづくり

(1)多様な主体による**自立した仕組み**づくり

- ・（仮称）マネジメントプランの策定
- ・協働を支える仕組みづくり（協議会等の設置）
- ・評価手法の確立（PDCAサイクルの構築）

(2)**組織・財源**の確保

- ・公園の管理運営に携わる多様な人材の確保（さまざまな分野の研修機会の構築）
- ・公園の管理運営に係る財源の確保（寄附制度の検討等）

(3)**情報発信**の強化

- ・情報媒体の活用・強化（SNS、タウン誌等の活用）
- ・通信環境の整備（QRコードや無料Wi-Fi等）



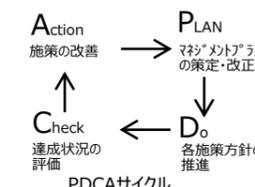
石川河川公園自然ゾーン計画・運営協議会



公園技術研修



泉佐野丘陵緑地コトまつぷ



樹木管理研修



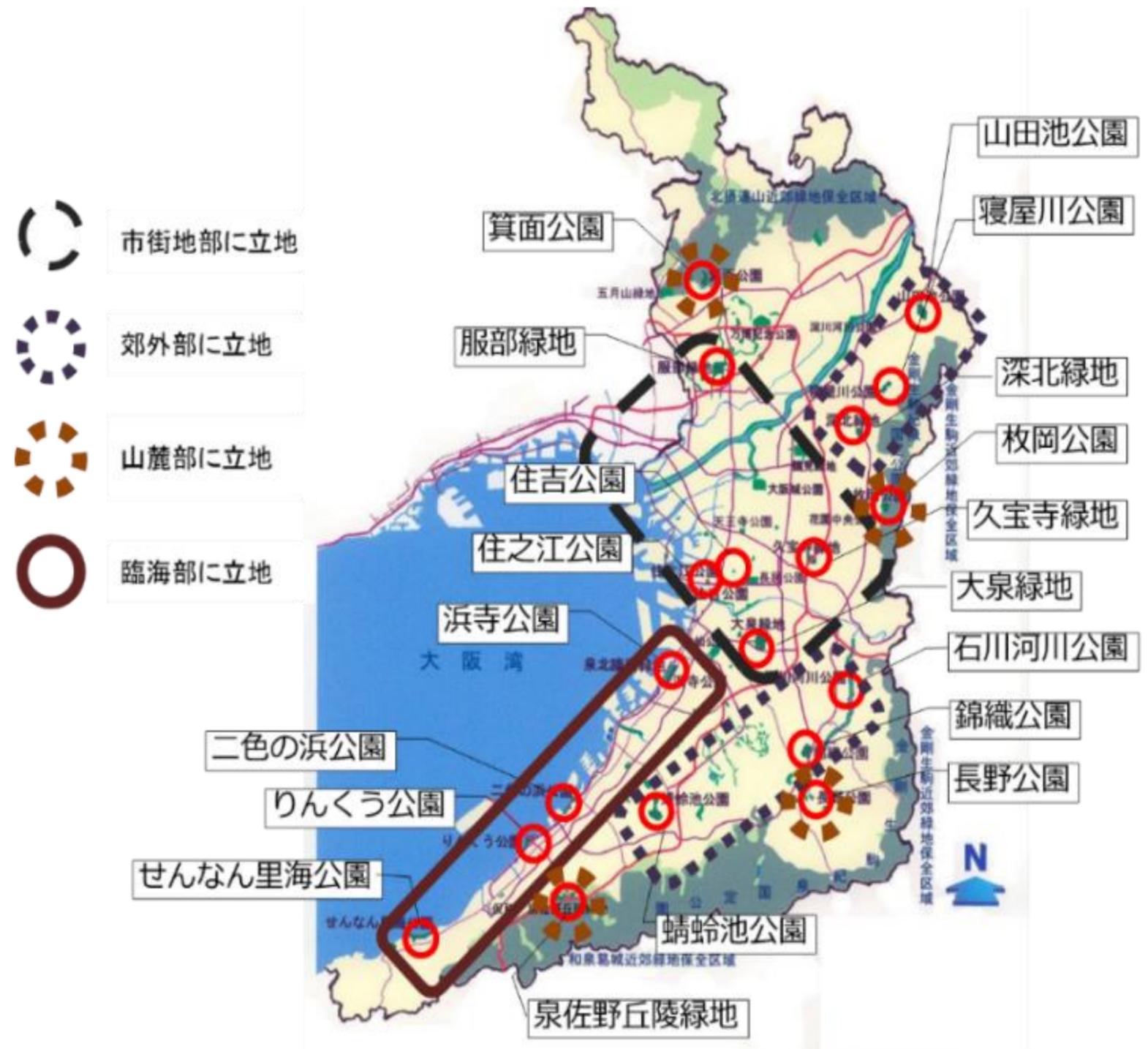
QRコード

『各公園のめざすべき姿（素案）』の対象公園

『大阪府営公園マスタープラン（平成31年3月）』における公園の立地特性に応じて、府営公園を4つに分類しています。

『各公園のめざすべき姿（素案）』では、指定管理業務により管理運営されている、18府営公園を対象とします。

①市街地部に立地する府営公園
服部緑地（豊中市、吹田市） 久宝寺緑地（八尾市、東大阪市、大阪市） 住吉公園（大阪市） 住之江公園（大阪市） 大泉緑地（堺市、松原市）
②郊外部に立地する府営公園
山田池公園（枚方市） 寝屋川公園（寝屋川市） 深北緑地（寝屋川市、大東市） 錦織公園（富田林市） 石川河川公園（柏原市、藤井寺市、 羽曳野市、河南町、富田林市） 蜻蛉池公園（岸和田市）
③山麓部に立地する府営公園
箕面公園（箕面市） 枚岡公園（東大阪市） 長野公園（河内長野市）
④臨海部に立地する府営公園
浜寺公園（堺市、高石市） 二色の浜公園（貝塚市） りんくう公園（泉佐野市、田尻町、泉南市） せんなん里海公園（阪南市、岬町）



大阪府営公園の位置図

①取組方針

公園の特色を活かす

- ・多種多様な公園施設と、都市内の大規模なみどりを活かした相乗効果による賑わい
- ・日本の歴史、文化を発信し、大阪を代表する国際的な観光振興拠点

民間活力の積極的導入

- ・公園の豊かなみどりの中で、賑わい施設をめぐり楽しめる公園
- ・テニスコート、遊戯場などの施設がさらに充実し、多様なアクティビティを年中楽しめる公園

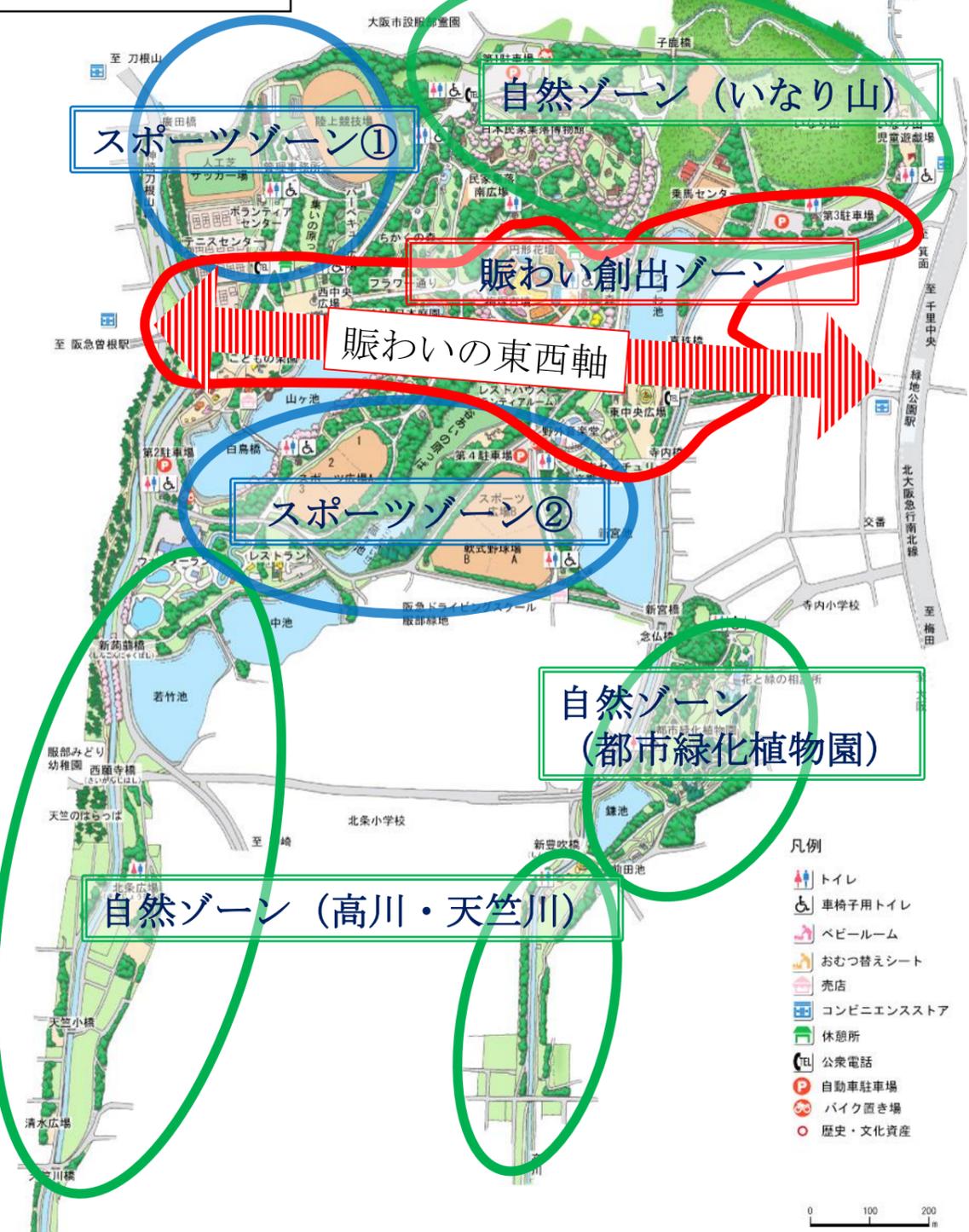
安全・安心・快適

- ・広域避難場所として、周辺地域の避難者を地震発生時の市街地火災等から守る公園
- ・後方支援活動拠点として、自衛隊や消防隊・警察の支援部隊の救出・救助活動拠点等の役割を果たす公園

都市の環境を保全

- ・北摂の代表景観を構成する「千里丘陵の竹林」として、守り育まれる公園
- ・松林やため池、竹林など、豊かな自然を題材に自然を学び楽しむことができる公園

②ゾーンの設定



③各ゾーンの運営方針

賑わい創出ゾーン	充実させる機能
○「賑わいの東西軸」の活性化により、公園から地域全体の賑わいを創出するゾーン	・円形花壇等の良好な景観を充実させると共に、服部緑地の賑わいづくりの拠点となるショップや飲食施設 ・年中ゾーン内のどこかでワクワク体験ができるイベント・プログラムの展開
スポーツゾーン①②	充実させる機能
○府内有数の運動施設の集積を活用し、府民のスポーツ文化の発展や、府民の健康づくり習慣の促進を図るゾーン	・多様なスポーツニーズへの対応や文化の発展に寄与する施設機能の充実（夜間、雨天対応など） ・家族が安心してスリリングな体験を楽しめる遊戯施設 ・運動習慣のきっかけづくりとなる健康イベント
自然ゾーン（いなり山・高川・天竺川）	充実させる機能
○都会の中で、自然を学び、自然を楽しむアクティビティが活発に創出されるゾーン ○「千里丘陵の竹林」の美しい景観を次世代に引き継ぐゾーン ○天竺川・高川の豊かな松林の景観を地域と共に守り育てるゾーン	・竹林景観を取り込んだ上質な飲食施設 ・タケノコ堀りやネイチャーガイドウォーク、生き物ふれあい体験など、公園の自然を活かし、都会で体験できるアウトドアアクティビティ ・松林の景観を重視した維持管理
自然ゾーン（都市緑化植物園）	充実させる機能
○都市緑化植物園の高品質なみどりの空間で、贅沢なライフスタイルを提案・実現するゾーン	・植物園の上質な雰囲気を活かし、みどりを取り入れた新たな「憩い」や「癒し」の提案・体験をする機会の提供

<参考>公園の概要

- ・開設面積：126.3 ha
- ・年間利用者数（H30年度）：約690万人
- ・開設年度：昭和25年8月1日
- ・主要施設：陸上競技場、テニスコート、野球場、スポーツ広場、乗馬場、プール（ウォーターランド）、円形花壇、バーベキュー広場、児童遊戯場、都市緑化植物園、花と緑の相談所、日本民家集落博物館、野外音楽堂、レストラン
- ・アクセス：北大阪急行（地下鉄御堂筋線直通）「緑地公園」駅すぐ
阪急宝塚線「曽根」駅 東へ約1.5キロメートル



周辺見取り図

■久宝寺緑地 『市街地の貴重なみどりと広大な空間・立地を活かし、「防災」「健康」「地域」をテーマとした新たな賑わいを生み出す公園』

①取組方針

公園の特色を活かす

- ・スポーツ施設を始めとする多様な施設の活用とプログラムの充実を図り、府民の「健康・長寿」の実現を支援する公園

民間活力の積極的導入

- ・府民や企業等、多様な主体と連携して公園の利便性や魅力の向上を行うことで、「地域に開けた」新たなサービス提供を図る公園

安全・安心・快適

- ・広域避難場所として、周辺地域の避難者を地震発生時の市街地火災等から守る公園
- ・後方支援活動拠点として、自衛隊や消防隊・警察の支援部隊の救出・救助活動拠点等の役割を果たす公園

都市の環境を保全

- ・都市に創出された貴重なみどり資源として、「自然環境の保全・再生・創出」を図る公園

②ゾーンの設定



③各ゾーンの運営方針

賑わい創出ゾーン	充実させる機能
○公園のコアゾーンに魅力となる施設を配置し、「地域から公園」に賑わいを呼び込むゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる世代が年間を通じて集い、レクリエーション を楽しみ、心身の健康づくりに役立つ施設 ・伝統園芸植物の『美』と江戸園芸文化の『粋』を表すシャクヤクを演出、魅せるプログラムの開発
スポーツ・健康づくりゾーン	充実させる機能
○中河内地域の健康運動拠点として、府民の『健康・長寿』づくりの支援を行うゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり・予防医療に資する運動施設・器具等の設置・整備 ・プールや賑わい施設の充実 ・継続的・自律的な健康運動習慣を促すプログラムの展開
自然ゾーン	充実させる機能
○多面的なグリーンインフラ機能と都市にある貴重な自然を学び・楽しむゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・生きものの生息・生育の場の提供等の機能を持つ「都市のグリーンインフラ」について学ぶプログラムの充実

<参考>公園の概要

- ・開設面積：38.4 ha
- ・年間利用者数（H30年度）：約170万人
- ・開設年度：昭和46年4月1日
- ・主要施設：陸上競技場、テニスコート、野球場、プール、児童遊戯場、風の広場、シャクヤク園
- ・アクセス：関西本線(大和路線)「久宝寺」駅 北西へ約1.2キロメートル
 関西本線(大和路線)「加美」駅 北東へ約1.2キロメートル
 近鉄大阪線「久宝寺口」駅 南西へ約1.2キロメートル



周辺見取り図

① 取組方針

公園の特色を活かす

- ・住吉大社と連携し日本最古の公園としての歴史資産・景観を保全し、国内外からの観光客を誘致する公園

民間活力の積極的導入

- ・公園の利便性向上や施設改修を民活で行い、利用者サービスと公園機能の向上を図る
- ・地域、民間との連携により、一年を通じてイベントを開催する公園

安全・安心・快適

- ・ユニバーサルデザインの充実とともに、良好な維持管理による快適な園内空間を生み出す

都市の環境を保全

- ・都心部に位置する貴重なみどり空間として、園内の自然環境を保全し、さらなるみどり空間を創出する

② ゾーンの設定



③ 各ゾーンの運営方針

賑わい創出ゾーン	充実させる機能
○南海本線住吉大社駅前に隣接しており、駅前広場周辺及び桜広場を中心としてにぎわいを創出するゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・公園のエントランスとして、来園者を園内に誘うための装置としてのイベントの実施や広場と一体となった飲食施設や運動施設の充実 ・歴史ある住吉大社と連携した観光促進施設の整備
レクリエーションゾーン	充実させる機能
○都心部にある貴重なみどり空間を活用し、子どもから大人までが様々なアクティビティを楽しむことができるゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な世代に対応することができる広場や遊戯場機能の充実 ・都心部にある貴重なみどり空間を活用し、新たな緑化空間を創出する
スポーツゾーン	充実させる機能
○府営公園唯一の体育館を含め、立地の良い場所にある運動施設として、府民の健康増進を図るゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・時代と共に変化するニーズに対応しながら、様々なスポーツを楽しむことができる施設及び施設転換
歴史景観保全ゾーン	充実させる機能
○住吉大社の参道に続く汐掛道や高灯籠、明治時代の面影を残す心字池などがある歴史景観を保全するゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的背景を尊重しつつ、より美しい景観づくりを進め、観光的要素を踏まえた機能・施設の充実

<参考>公園の概要

- ・開設面積：8.0 ha
- ・年間利用者数（H30年度）：約90万人
- ・開設年度：明治6年8月2日
- ・主要施設：テニスコート、軟式野球場、児童遊戯場、花と水の広場、桜広場、体育館、集会所
- ・アクセス：南海本線「住吉大社」駅すぐ
阪堺電車「住吉鳥居前」駅すぐ



① 取組方針

公園の特色を活かす	民間活力の積極的導入	安全・安心・快適	都市の環境を保全
<ul style="list-style-type: none"> ・都市部に位置する貴重なオアシスとして、昭和初期に作られた公園の風格を活かし、園内を憩いの空間にする ・府民に愛される野球場をはじめ、多様なスポーツ施設を活用したレクリエーション活動の中心となる公園 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設や飲食施設の充実を図り、利用者サービスと公園機能の向上を図る ・地域、民間との連携により、一年を通じてイベントが開催される公園 	<ul style="list-style-type: none"> ・広域避難場所として、周辺地域の避難者を地震発生時の市街地火災等から守る公園 	<ul style="list-style-type: none"> ・都心部に位置する貴重なみどり空間として、園内の自然環境を保全し、さらなるみどり空間を創出する

② ゾーンの設定



③ 各ゾーンの運営方針

賑わい創出ゾーン	充実させる機能
○公園のエントランスとして地域と繋がり、賑わいを創出するゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の中心的エリアとして、地域と一体となってにぎわいを創出する拠点機能 ・プールもしくは新たなニーズに対応したスポーツ施設、カフェやレストラン等の便益機能の充実
レクリエーションゾーン	充実させる機能
○子どもから大人まで一年を通じて様々なアクティビティを楽しむことのできるゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・花と緑のスクエアの景観を活かした、イベントの充実 ・地元と連携したイベントの実施など、地域活性化にも寄与するプログラムの展開
スポーツゾーン	充実させる機能
○府民に愛される野球場を中心とした、スポーツやレクリエーションを楽しむことのできるゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・野球場を中心に時代のニーズに応じたスポーツが展開できる施設機能の充実 ・児童向けレクリエーション施設やプログラムの充実
歴史景観保全ゾーン	充実させる機能
○昭和初期の面影を残す大池など、当時の造園技術を現代に伝える歴史景観を保全するゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的背景を尊重しつつ、より美しい景観づくりを進め、観光的要素を踏まえた整備を実施

<参考>公園の概要

- ・開設面積：15.1 ha
- ・年間利用者数（H30年度）：約40万人
- ・開設年度：昭和5年10月8日
- ・主要施設：テニスコート、野球場、球技広場、プール、花と緑のスクエア、児童遊戯場
- ・アクセス：Osaka Metro四ツ橋線「住之江公園」駅 北へ約450メートル
ニュートラム「住之江公園」駅 北へ約400メートル



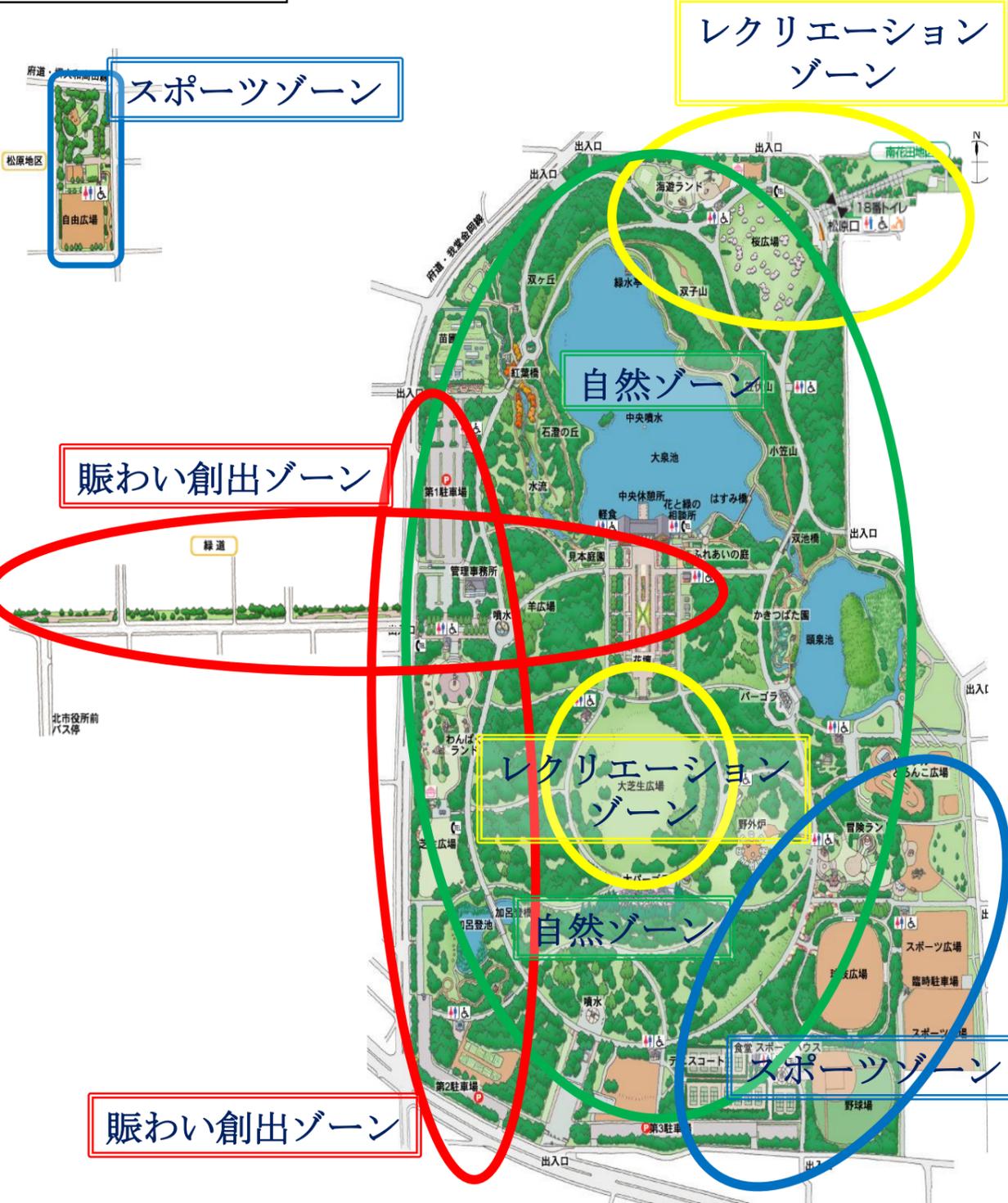
周辺見取り図

■大泉緑地 『市街地の中に創出した広大な都市林を守り、育てる公園』

①取組方針

公園の特色を活かす	民間活力の積極的導入	安全・安心・快適	都市の環境を保全
<ul style="list-style-type: none"> 市街地の広大な森林の中で、府民が身近な自然との対話や交流を生み出す公園 多様な施設と広大な空間を活用し、スポーツ、緑化などの地域拠点となる公園 	<ul style="list-style-type: none"> 公園の豊かな緑の中で、ウォーキングやジョギングを快適に楽しめる公園 広大な園内の広がりや景観を活かし楽しむことができるイベントや飲食サービスの提供など利用者サービスの向上を図る公園 	<ul style="list-style-type: none"> 広域避難場所として、周辺地域の避難者を地震発生時の市街地火災等から守る公園 後方支援活動拠点として、自衛隊や消防隊・警察の支援部隊の救出・救助活動拠点等の役割を果たす公園 	<ul style="list-style-type: none"> 市街地に創出した都市林として樹林地や草地、池などの自然空間を楽しむプログラムを展開し、自然の大切さを伝える公園 都市林を守り育てるとともに、その活動を府民が楽しむことができる公園

②ゾーンの設定



③各ゾーンの運営方針

賑わい創出ゾーン	充実させる機能
○駅から続くエントランス空間として、公園の森と一体となったにぎわいを創出するゾーン	<ul style="list-style-type: none"> 公園の特色である都市の森を活かした、カフェやレストランなどの便益施設の充実 園内に人を呼び込むためのイベント（マルシェ・朝市など）の実施
レクリエーションゾーン	充実させる機能
<ul style="list-style-type: none"> ○遊戯場や桜広場といった子どもから大人までがアクティビティを楽しむことのできるゾーン ○大芝生広場を活用した様々なイベント等を展開できるゾーン 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童向けレクリエーション施設・プログラムの充実 ・BBQなど多様なアクティビティの充実 ・広大な芝生広場を森のステージとして活用した大規模イベント（コンサートやライブ等）の実施
スポーツゾーン	充実させる機能
○森の中でスポーツやレクリエーションを楽しむことのできるゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なスポーツを楽しむことのできる施設の充実 ・新たなスポーツニーズに対応できる施設機能の充実 ・BMX専用コースを活用した大会や教室の実施
自然ゾーン	充実させる機能
○都市にある大規模な森を活かし、自然との触れ合いを楽しむことのできるゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいの庭など、五感で感じることのできるユニバーサルデザイン施設の活用 ・デイキャンプや泊りでのキャンプなど森の中での非日常を過ごす体験施設や、森を活かしたアスレチック、森を感じることのできるプログラムなどの展開

<参考>公園の概要

- ・開設面積：101.5 ha
- ・年間利用者数（H30年度）：約240万人
- ・開設年度：昭和47年4月1日
- ・主要施設：テニスコート、野球場、スポーツ広場、サイクルどろんご広場、ふれあいの庭、大芝生広場、かきつばた園、桜広場、野外炉、花と緑の相談所
- ・アクセス：Osaka Metro御堂筋線「新金岡」駅 東へ約1.0キロメートル
 阪和線「堺市」駅または南海高野線「堺東」駅より
 南海バス 北支所前停留所 東へ約800メートル



■山田池公園

『山田池を中心とした景観と、丘陵地を活かした多様な自然と触れ合える公園』

①取組方針

公園の特色を活かす	民間活力の積極的導入	安全・安心・快適	都市の環境を保全
<ul style="list-style-type: none"> ・伝統ある山田池や里山景観など、地域の歴史と風土に根差した環境を守り味わう公園 ・ハナショウブをはじめとする日本の伝統的な園芸植物を楽しむことができる公園 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の広大なみどりの中で、ウォーキングやジョギングを快適に楽しめる公園 ・広大な園内の里山や水辺景観を楽しめる公園 	<ul style="list-style-type: none"> ・広域避難場所として、周辺地域の避難者を地震発生時の市街地火災等から守る公園 ・後方支援活動拠点として、自衛隊や消防隊・警察の支援部隊の救出・救助活動拠点等の役割を果たす公園 	<ul style="list-style-type: none"> ・北河内の貴重な自然環境を保全して、多様な生き物が住める環境を提供する公園 ・隣接する自然巡回路、自転車道と連携し広域的なレクリエーションの拠点となる公園

②ゾーンの設定



③各ゾーンの運営方針

自然ゾーン（山田池）	充実させる機能
○北河内の貴重な里山や山田池など、地域の歴史と風土に根差した景観を楽しむゾーン	・山エリアの園路整備や水面を活用したレクリエーション、アスレチック遊具の整備等、公園の自然を楽しむことができる施設・アクティビティの充実
自然ゾーン（学習）	充実させる機能
○様々な植物の栽培や管理について体験しながら学習できるゾーン	・ハナショウブやモミジ、アジサイその他花木を楽しむアクティビティや学習機会の充実
自然ゾーン（体験）	充実させる機能
○様々な農作物（花、竹、野菜など）を活用し、自然体験を楽しむゾーン	・花壇の花飾りや農業体験イベント、竹林の管理等を通じて自然を体験するアクティビティの充実
賑わい創出ゾーン	充実させる機能
○自然と触れ合いながら、ファミリーやグループで自由にレクリエーションを楽しんだり、イベントに参加して楽しむゾーン	・バーベキュー、ハイキング等に係る設備の充実や広場空間を活かしたイベントの実施等、レクリエーション機能・施設の充実

<参考>公園の概要

- ・開設面積：73.7 ha
- ・年間利用者数（H30年度）：約100万人
- ・開設年度：昭和54年10月1日
- ・主要施設：水生花園（花しょうぶ園・あじさい園・スイレン池）、水辺広場、展望広場、もみじ谷、花木園、芝生広場、自由広場（児童遊技場）、クィーンズランドガーデン、コテージガーデン、パークセンター、山田池美月橋、川原広場
- ・アクセス：京阪本線「枚方市」駅 または JR学研都市線「長尾」駅より
京阪バス 出屋敷停留所 東へ約200メートル
JR学研都市線「藤阪」駅 北西へ約700メートル



周辺見取り図

①取組方針

公園の特色を活かす

- ・御伽草子などの文化資源を活用し、地域や鉄道会社と連携した取組による魅力増進
- ・スポーツ施設を活用した府民の健康づくり・レクリエーション活動を促進する公園

民間活力の積極的導入

- ・周辺地域と一体となり、日常生活の中で、公園の豊かな緑を守り活用する取組が行われる公園
- ・テニスコート、陸上競技場などの施設を活用し、地域の健康づくりに貢献する公園

安全・安心・快適

- ・広域避難場所として、周辺地域の避難者を地震発生時の市街地火災等から守る公園
- ・後方支援活動拠点として、自衛隊や消防隊・警察の支援部隊の救出・救助活動拠点等の役割を果たす公園

都市の環境を保全

- ・都市開発の進む周辺地域にとって貴重なみどりを担保することによって、地域の人々の憩いの場となり、野生生物の生息環境を保全する公園

②ゾーンの設定



③各ゾーンの運営方針

スポーツゾーン	充実させる機能
○みどりや生物の生育空間としての自然環境を保全しながら、スポーツや健康づくりに関わる多種多様なニーズに応えられる施設を整備するゾーン	・スポーツ活動や健康づくりを促進する施設や器具の更新や充実 ・利用を活性化するためのスポーツ教室やイベント等のアクティビティの実施
賑わい創出ゾーン	充実させる機能
○周辺地域と一体となり、日常生活の中でレクリエーションやイベントを楽しむことのできるエリア	・J R 寝屋川公園駅周辺地区と一体となった賑わい創出 ・大型遊具・休憩施設の設置や桜並木などの樹木の植樹などを通じた賑わいづくりや利用者サービスの向上

<参考>公園の概要

- ・開設面積：32.3 ha
- ・年間利用者数（H30年度）：約66万人
- ・開設年度：昭和57年11月1日
- ・主要施設：陸上競技場、テニスコート、野球場、ソフトボール場、南地区（児童遊戯場）、トリムコース、中央広場、芝生広場
- ・アクセス：J R 学研都市線「寝屋川公園」駅 北西へ約600メートル
京阪本線「寝屋川市」駅から
京阪バス「寝屋川公園駅」停留所下車 北西へ約600メートル



① 取組方針

公園の特色を活かす

・古代の名残りである深野池の水辺を中心とした美しい景観を活かし、地域の人々の憩いの場となる公園

民間活力の積極的導入

・テニスコート、陸上競技場などの施設の充実をはかり、地域の健康づくりに貢献する公園

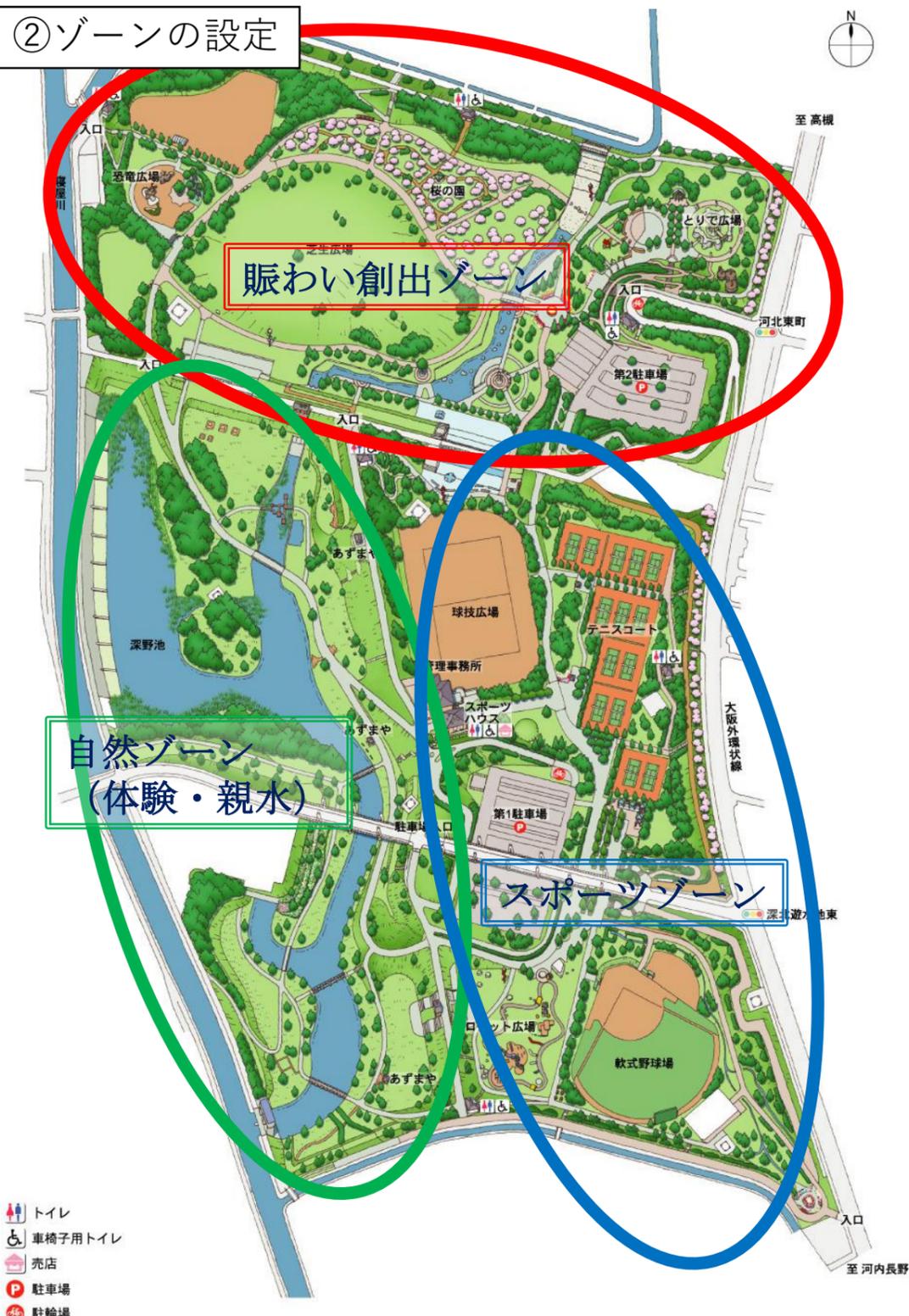
安全・安心・快適

・遊水地として河川の水を引き込み周辺地域の水害を防止する
 ・広域避難場所として、周辺地域の避難者を地震発生時の市街地火災等から守る公園

都市の環境を保全

・北河内の原風景である豊かな水辺空間を活用し、ヨシやハスなどの水生植物や水辺の生き物とふれあうことができる公園

② ゾーンの設定



③ 各ゾーンの運営方針

賑わい創出ゾーン

○少人数から大人数まで様々なレクリエーションやスポーツ、イベントに対応できるゾーン

充実させる機能

・アウトドアアクティビティ（デイキャンプやバーベキュー等）の施設・機能の充実
 ・学校や町内会など団体をスポーツ系のイベントを実施できるような機能の充実

自然ゾーン (体験・親水)

○「親水空間としての水辺」と「防災を目的とした治水」の両方を学ぶことのできるゾーン

充実させる機能

・北河内の水辺の原風景を代表するヨシやハスなど、水生植物や水辺の生き物の観察学習会等、深野池の自然を生かすプログラムの実施。
 ・治水緑地の機能を生かした都市防災学習会の実施

スポーツゾーン

○気軽にスポーツや健康づくりに取り組めるゾーン

充実させる機能

・多種多様なスポーツのニーズに対応できる設備の充実
 ・府民の健康づくりに寄与する施設やアクティビティの充実

<参考>公園の概要

- ・開設面積：41.0 ha
- ・年間利用者数（H30年度）：約75万人
- ・開設年度：平成3年11月8日
- ・主要施設：テニスコート、軟式野球場、球技広場、芝生広場、児童遊戯場とりで広場、桜の園
- ・アクセス：JR学研都市線（片町線）「野崎」駅 北西へ約1.3キロメートル
 「四条畷」駅西へ約1.3キロメートル



周辺見取り図

① 取組方針

公園の特色を活かす

- ・羽曳野丘陵の自然を活かした里山の魅力を体験できる公園

民間活力の積極的導入

- ・多様な主体と連携し河内の里やパークセンターを活用し利用者に里山の自然を楽しむプログラムを展開する公園
- ・四季折々の季節を感じる里山の自然とともに遊戯場などあらゆる年代の利用者に楽しんでもらえる公園

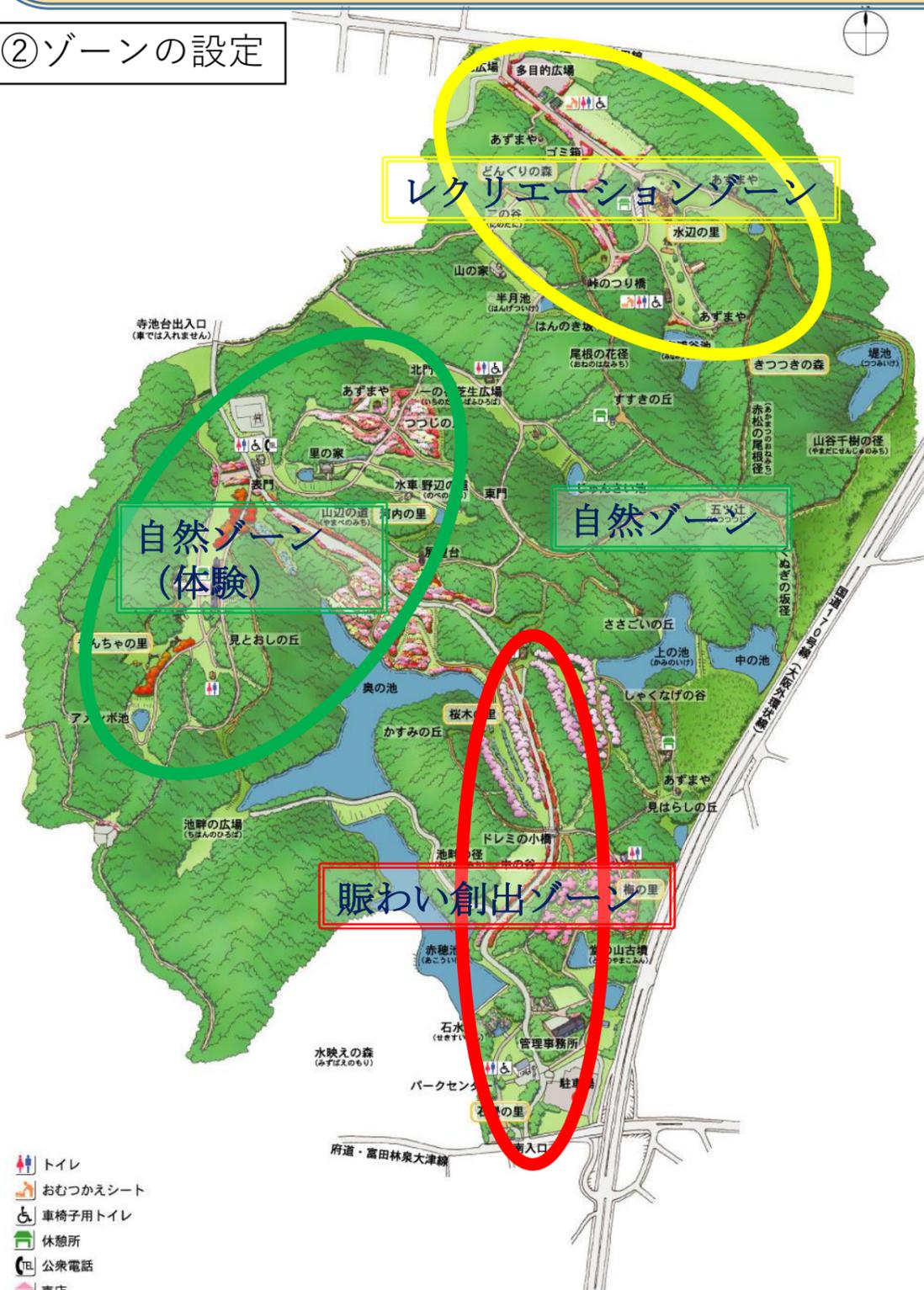
安全・安心・快適

- ・広域避難場所として、周辺地域の避難者を地震発生時の市街地火災等から守る公園
- ・後方支援活動拠点として、自衛隊や消防隊・警察の支援部隊の救出・救助活動拠点等の役割を果たす公園

都市の環境を保全

- ・南河内の里山での環境学習や生き物の観察会など豊かな自然を体感できる公園
- ・里山の自然を府民と共に守り育て里山を次世代に伝える公園

② ゾーンの設定



③ 各ゾーンの運営方針

賑わい創出ゾーン	充実させる機能
○ 駐車場からパークセンターなどの施設を通じて公園へ導く、主動線となるゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・河内の里と連動させる等、パークセンターの展示内容の充実やカフェなどの便益機能の充実 ・公園の入り口として他の施設へのアクセスが容易となる手段の展開 ・回遊型プログラムを公園全体で展開
自然ゾーン (体験)	充実させる機能
○ 南河内の農村風景を表現した河内の里や、やんちゃの里の児童遊戯場など利用者が最も多い錦織公園の顔となるゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・児童遊戯場の利用者を河内の里へ誘導し、里山等の自然体験に結び付ける仕組みづくり ・駐車場からのアクセスが悪いゾーンに来るまでの散策を楽しむプログラムの展開
レクリエーションゾーン	充実させる機能
○ 水辺の里の児童遊戯場や北広場があり、小さなお子さんの利用が多いゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・売店・カフェなどの便益施設の充実 ・子供向けレクリエーション等、イベント・プログラムの実施
自然ゾーン	充実させる機能
○ 里山として管理されているコナラの二次林の中で散策を楽しむエリア	<ul style="list-style-type: none"> ・明るい林床を楽しむイベント・プログラムの展開 (森林浴・里山管理体験など) ・広場の少ない公園全体を使ったイベント・プログラムの展開

<参考>公園の概要

- ・開設面積：65.7 ha
- ・年間利用者数 (H30年度)：約56万人
- ・開設年度：昭和62年4月1日
- ・主要施設：河内の里、児童遊戯場、梅の里、展望台、水辺の広場、桜木の里、つつじの丘、パークセンター
- ・アクセス：南海高野線「金剛」駅 南東へ約1.6キロメートル
南海高野線「滝谷」駅 東へ約1.6キロメートル
近鉄長野線「滝谷不動」駅 西へ約1.6キロメートル

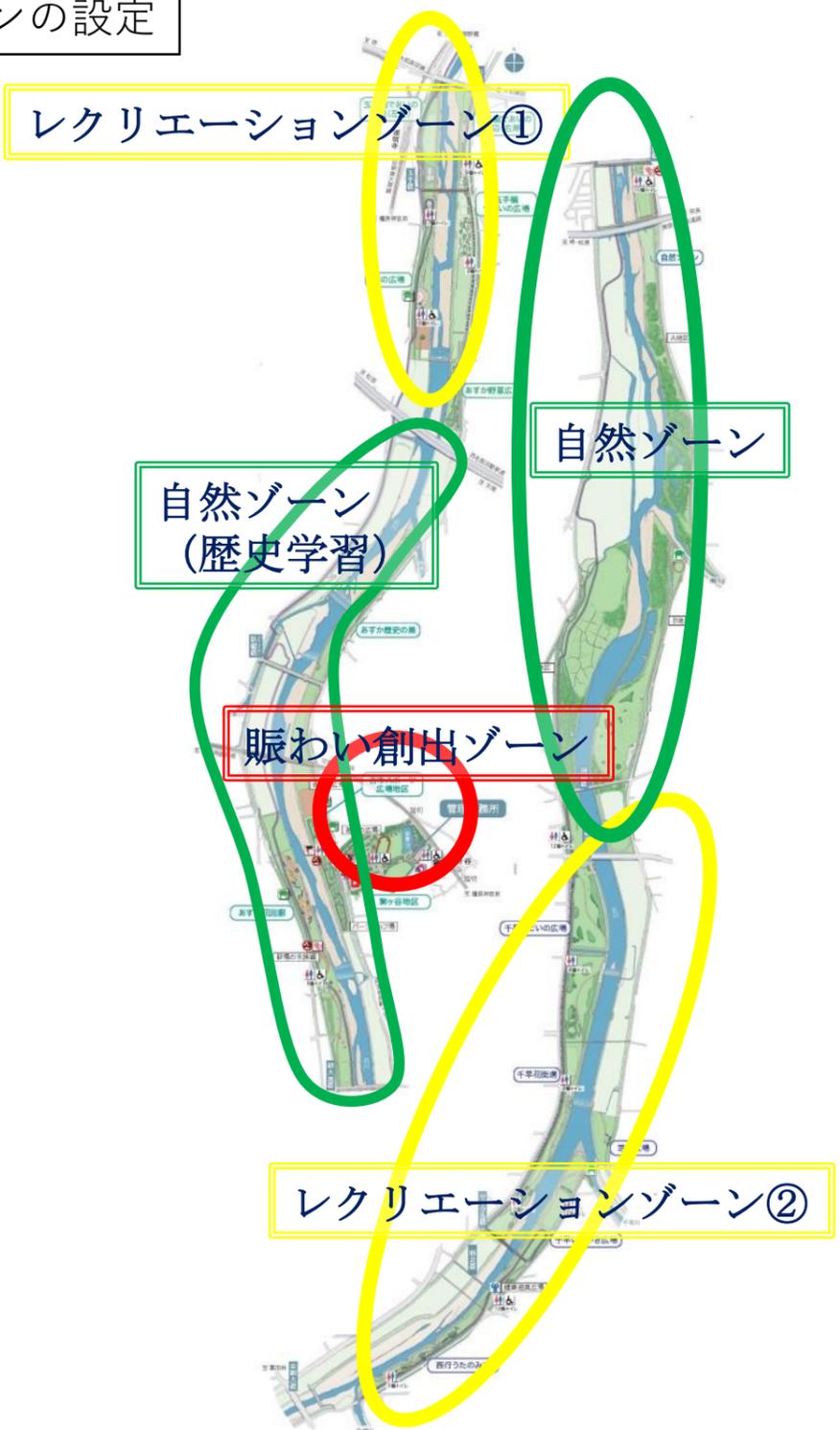


- トイレ
- おむつかえシート
- 車椅子用トイレ
- 休憩所
- 公衆電話
- 売店
- 駐車場

①取組方針

公園の特色を活かす	民間活力の積極的導入	安全・安心・快適	都市の環境を保全
<ul style="list-style-type: none"> ・南河内の豊富な歴史・文化遺産を活かし、地域の活性化、まちの魅力を向上させる公園 	<ul style="list-style-type: none"> ・長大な河川空間を活用したウォーキングやサイクリングなど様々なプログラムの展開される公園 	<ul style="list-style-type: none"> ・広域避難場所として、周辺地域の避難者を地震発生時の市街地火災等から守る公園 	<ul style="list-style-type: none"> ・南河内の貴重な水辺の生き物を地域の人々とともに保全、再生、創出し地域の人々に紹介する公園 ・川の自然と触れ合うことのできるソフト事業が展開される公園

②ゾーンの設定



③各ゾーンの運営方針

賑わい創出ゾーン	充実させる機能
<ul style="list-style-type: none"> ○近鉄南大阪線駒ヶ谷駅や駐車場から近く、パークゴルフ場や児童遊戯場などの施設があり、最も来園者が多いゾーン 	<ul style="list-style-type: none"> ・売店やカフェなど便益施設の充実 ・公園の入り口として他の区域へのアクセスが容易となる手段の展開 ・公園全体を楽しむ回遊型プログラムを展開
自然ゾーン（歴史学習）	充実させる機能
<ul style="list-style-type: none"> ○あすか花回廊やあすか歴史の里など歴史にちなんだ整備を行っているゾーン 	<ul style="list-style-type: none"> ・主要施設としてのあすか花回廊の植生の充実 ・あすか花回廊へのアクセスの向上
レクリエーションゾーン	充実させる機能
<ul style="list-style-type: none"> ○道明寺駅から近く、臨時駐車場もある星の広場や玉手橋であいの岸边等を有し来園者が比較的多いゾーン ○富田林駅から近く、西行うたのみち、健康遊具広場等を有するゾーン 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺自治体等多様な主体と連携したイベント・プログラムの実施
自然ゾーン	充実させる機能
<ul style="list-style-type: none"> ○ミゾコウジュやカヤネズミ等の絶滅危惧種をはじめとする石川の生物に配慮した管理を行っているゾーン 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然ゾーンの調査、植生管理等に絡めたイベント・アクティビティ等石川の自然を学ぶ機会の充実

<参考>公園の概要

- ・開設面積：73.7 ha
- ・年間利用者数（H30年度）：約20万人
- ・開設年度：平成7年4月1日
- ・主要施設：パークゴルフ場、玉手橋であいの岸边、星の広場、あすか花回廊、西行うたの道、自然ゾーン、児童遊戯場
- ・アクセス：
 - 【駒ヶ谷地区】近鉄南大阪線「駒ヶ谷」駅 北西へ約500メートル
 - 【西行うたのみち】近鉄長野線「富田林」駅 東へ約1.2キロメートル
 - 【芝生広場】近鉄長野線「喜志」駅 南東へ約2.5キロメートル
 - 【あすか花回廊】近鉄南大阪線「古市」駅 南東へ約1.2キロメートル
 - 【星の広場】近鉄南大阪線「道明寺」駅 南東へ約400メートル
 - 【玉手橋であいの岸边】近鉄南大阪線「道明寺」駅 東へ約400メートル



① 取組方針

公園の特色を活かす

- ・泉州地域の緑豊かな丘陵地の景観とため池の景観の中で地域住民が憩う公園
- ・スポーツ施設や四季折々の花の景観などを活用した地域の魅力づくりに貢献する公園

民間活力の積極的導入

- ・ため池や丘陵の景色を愛でながら飲食施設でくつろぐことができる公園
- ・遊技場やテニスコートなどの施設が充実し、多様なアクティビティを年中楽しめる公園

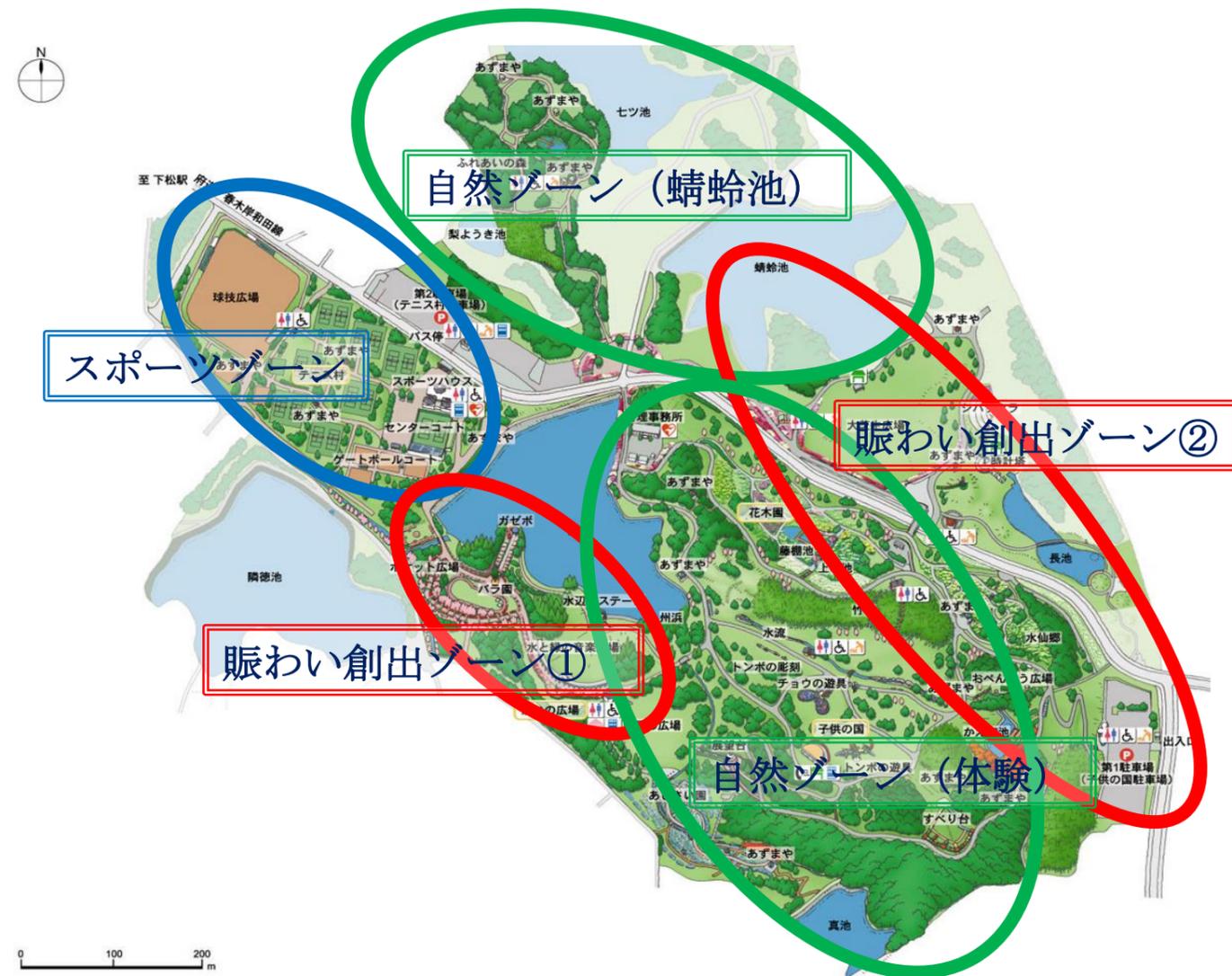
安全・安心・快適

- ・広域避難場所として、周辺地域の避難者を地震発生時の市街地火災等から守る公園
- ・後方支援活動拠点として、自衛隊や消防隊・警察の支援部隊の救出・救助活動拠点等の役割を果たす公園

都市の環境を保全

- ・園内の竹林やため池、里山景観を守り、観察会やナイトツアー、子供向けの体験ツアーなどのプログラムの展開
- ・常にバラ、アジサイ、スイセン等の花景観を充実させ、新たな花の魅力を伝える公園

② ゾーンの設定



③ 各ゾーンの運営方針

賑わい創出ゾーン①②	充実させる機能
<ul style="list-style-type: none"> ○四季を通じて景観を楽しむことができるゾーン ○大芝生広場やタワー滑り台等の子どもから大人までがアクティビティを楽しむことができるゾーン 	<ul style="list-style-type: none"> ・バラ園などの資源を活かした賑わい施設の導入 ・水と緑の音楽広場でのライブ等、イベントの充実 ・BBQなど多様なアクティビティの充実
スポーツゾーン	充実させる機能
<ul style="list-style-type: none"> ○府民の健康づくり習慣の促進を図るゾーン 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様なスポーツニーズ、多目的の利用が可能となるよう施設機能の充実 ・カフェやコンビニなどの便益施設の設置
自然ゾーン (蜻蛉池)	充実させる機能
<ul style="list-style-type: none"> ○泉州地域の特色であるため池を活かした景観づくりを楽しむゾーン 	<ul style="list-style-type: none"> ・蜻蛉池、七ツ池などの景観を活かした修景整備
自然ゾーン (体験)	充実させる機能
<ul style="list-style-type: none"> ○あじさい園、花木園、水仙郷などの様々な花にふれあうことのできるゾーン ○特徴的な遊具で楽しむことができるゾーン 	<ul style="list-style-type: none"> ・園内の四季折々の花を楽しむイベントの開催 ・大型遊具の一層の充実

<参考>公園の概要

- ・開設面積：58.3 ha
- ・年間利用者数（H30年度）：約85万人
- ・開設年度：平成3年6月30日
- ・主要施設：テニス村（テニスコート・球技広場）、子供の国、水と緑の音楽広場、花木園、あじさい園、水仙郷、スポーツハウス
- ・アクセス：
 - JR 阪和線「下松」駅から南海バス「下松」バス停より道の駅「愛彩ランド」行き乗り換え「蜻蛉池公園前」バス停下車すぐ
 - 南海本線「岸和田」駅から南海バス道の駅「愛彩ランド」行き乗り換え「蜻蛉池公園前」バス停下車すぐ



周辺見取り図

① 取組方針

公園の特色を活かす

- ・箕面大滝や豊かな自然を生かした、国際的な観光拠点となる公園

民間活力の積極的導入

- ・地域の多様な主体と連携し、公園の豊かな自然を楽しむことができる公園
- ・滝、モミジ、新緑などの自然の資源を活用した景観やイベントを楽しむことができる公園

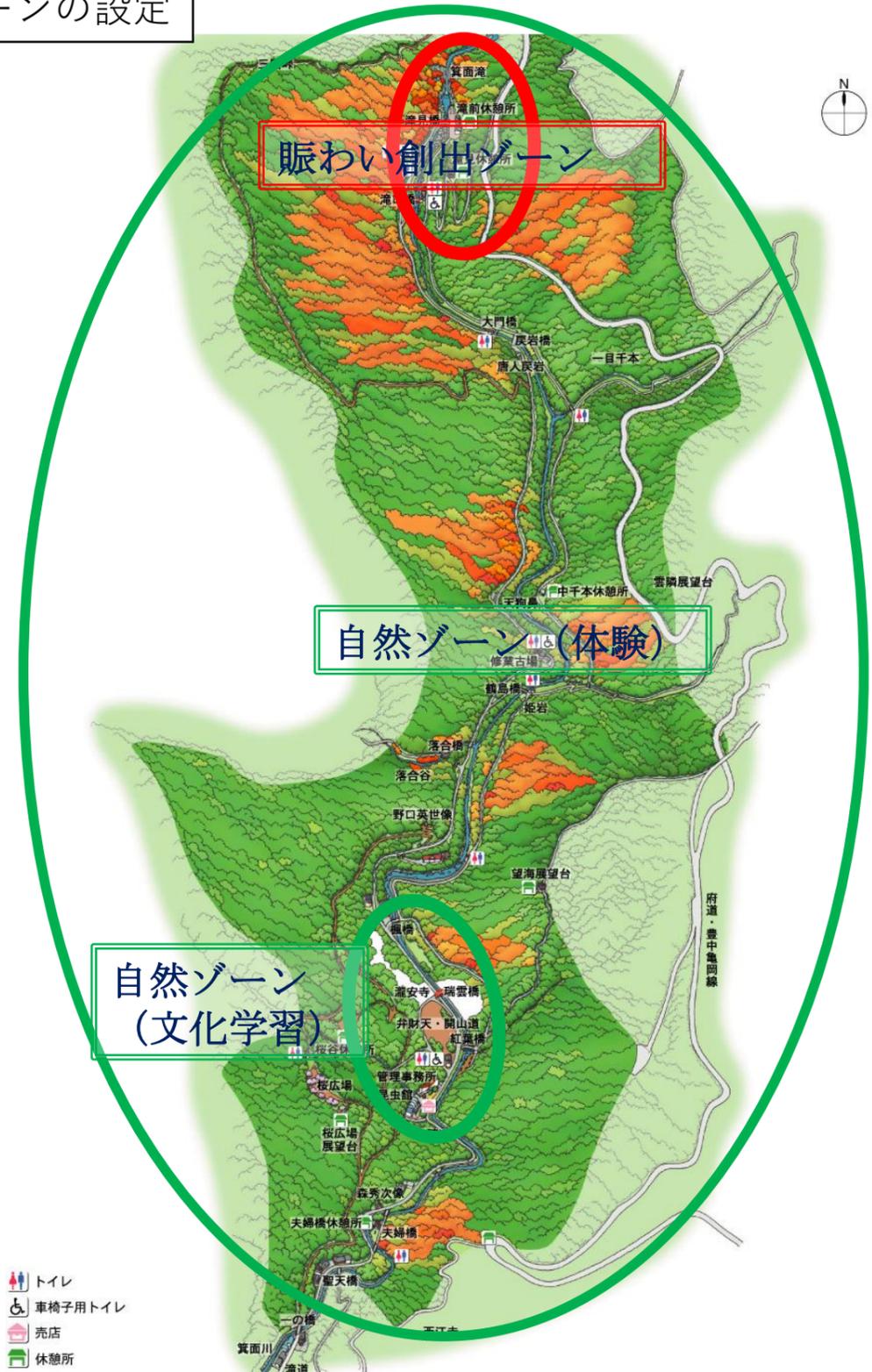
安全・安心・快適

- ・斜面地の安全対策を進め、利用者が安心して過ごせる公園

都市の環境を保全

- ・日本三大昆虫生息地として、昆虫館を中心とした自然環境学習を進め、自然と触れ合うプログラムを年中楽しめる公園
- ・滝、モミジ、新緑などの自然の資源を活用した景観やイベントを楽しむことができる公園

② ゾーンの設定



③ 各ゾーンの運営方針

賑わい創出ゾーン	充実させる機能
○箕面大滝を中心として、国内外の観光客を呼び込む観光拠点として賑わいを創出するゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・観光スポットとして、海外観光客も取り込めるような飲食施設や物販施設の整備 ・滝を中心としたイベント・プログラムの展開
自然ゾーン（体験）	充実させる機能
○箕面山や箕面川の豊かな自然を身近に感じ、体験できるゾーン（公園全域）	<ul style="list-style-type: none"> ・自然資源を活用したイベントやフィールドワークの実施 ・箕面の自然を手軽に体験できるアウトドアアクティビティ施設の充実 ・滝、溪流、カエデ、モミジ、桜等の保全・再生
自然ゾーン（文化学習）	充実させる機能
○箕面の自然や昆虫を学べる昆虫館を中心に自然文化を体験・学習できるゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・子供から大人までが楽しめる自然学習プログラム等の充実

<参考>公園の概要

- ・開設面積：83.8 ha
- ・年間利用者数（H30年度）：約146万人
- ・開設年度：明治31年5月20日
- ・主要施設：箕面の滝、ハイキング道、休憩所、昆虫館
- ・アクセス：
 - 阪急箕面線「箕面」駅 北へ約400メートル
 - 北大阪急行（地下鉄御堂筋線直通）千里中央駅 より
 - 阪急バス「箕面駅」停留所下車



①取組方針

<p>公園の特色を活かす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺の歴史遺産と連携・協力して、地域の魅力を高める公園 	<p>民間活力の積極的導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園の豊かな自然と地域の歴史を深く楽しむことが出来る公園 	<p>安全・安心・快適</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山の樹木を守り、周辺住民が安心できる公園 	<p>都市の環境を保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山の花木やモミジなどを利用者が楽しむことが出来る公園 ・山の生き物と触れ合うソフト事業等が展開される公園
--	--	--	---

②ゾーンの設定

自然ゾーン
(長野地区)



自然ゾーン
(観心寺・丸山地区)



自然ゾーン
(延命寺地区)



自然ゾーン
(河合寺地区)



自然ゾーン
(天野山地区)



③各ゾーンの運営方針

自然ゾーン (長野地区)	充実させる機能
○駅に最も近く、周辺の展望を活かし、子供や家族づれが生き物やみどりに触れ合う地区	・子どもから大人までが楽しむことが出来るような遊びや体験などの機能を充実 ・公園全体で展開できる回遊型プログラムの実施
自然ゾーン (河合寺地区)	充実させる機能
○豊富な花木や金剛・和泉・葛城の山々の眺望などの良好な景色を楽しんでもらう地区	・サクラやアジサイ、ツツジなどの花木をより一層楽しむことが出来るプログラムの展開
自然ゾーン (延命寺地区)	充実させる機能
○延命寺と隣接し、紅葉、深い樹林やハス池などの歴史的な景観を楽しんでもらう地区	・歴史資源と合わせて、サクラや紅葉、ここだけに見られる千重紅というハスなどを一層楽しむことが出来るイベント・プログラムの展開
自然ゾーン (観心寺・丸山地区)	充実させる機能
○観心寺と隣接し、紅葉、うっそうとしたスギ・ヒノキの林や明るい尾根の散策を楽しむ地区	・歴史資源を生かすイベントの実施（歴史ウォーク、フォトロゲイニングなど） ・長い尾根やタイプの異なる林を楽しむイベント・プログラムの展開（森林浴など）
自然ゾーン (天野山地区)	充実させる機能
○ムササビのいる原生林やスギ・ヒノキの大木の林のある、野外教育やディキャンプを楽しむ地区	・アウトドア機能・施設の充実（キャンプ、ハイキングルートなど） ・豊かな自然を生かし、生き物に触れる体験をする機会の提供（観察会や体験会など）

<参考>公園の概要

- ・開設面積：46.3 ha
- ・年間利用者数（H30年度）：約21万人
- ・開設年度：昭和26年10月20日
- ・主要施設：あじさい園、蓮池、すいれん池、展望台、児童遊戯場、休憩所、キャンプ場
- ・アクセス：
 - 奥河内さくら園（長野地区）
南海高野線・近鉄長野線「河内長野」駅 南東へ約300メートル
 - 奥河内あじさい園（河合寺地区）
南海高野線・近鉄長野線「河内長野」駅 南東へ約1.0キロメートル
 - 奥河内もみじ公園（延命寺地区）
南海高野線「三田市」駅 南東へ約2.4キロメートル
南海高野線「美加の台」駅から 南海バス神ヶ丘口停留所 東へ約800メートル
 - 奥河内楠公の里（観心寺・丸山地区）
南海高野線・近鉄長野線「河内長野」駅から 南海バス観心寺停留所すぐ
 - 奥河内天野キャンプの森（天野山地区）
南海高野線・近鉄長野線「河内長野」駅から 南海バス天野山停留所すぐ



① 取組方針

公園の特色を活かす

- ・多種多様な公園施設と、悠久の松林や園内の歴史的遺産との相乗効果による賑わいづくりを進める
- ・日本の原風景の中にバラの彩りを取り入れたばら庭園など、文化を発信する公園

民間活力の積極的導入

- ・公園の豊かな緑の中で、カフェなどで憩いのひと時を過ごすことのできる公園
- ・テニスコート、遊戯場などの施設を充実させ、多様なアクティビティを一年中楽しめる公園

安全・安心・快適

- ・広域避難場所として、周辺地域の避難者を地震発生時の市街地火災等から守る公園

都市の環境を保全

- ・明治から続く日本で最も古い公園のひとつとして、松林を活用した環境学習を行うなど風景・歴史的遺産を含めた公園のみどり全体を守り、次世代に引き継ぐ

② ゾーンの設定



③ 各ゾーンの運営方針

賑わい創出ゾーン	充実させる機能
○公園のエントランスとして、駅周辺地域と一体となって賑わいを創出し、公園の中心となるゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の特徴である松林やバラを見ながら、くつろぐことのできる施設やプログラムの展開 ・ばらなどの資源を活かした賑わい施設の導入 ・プールや徒渉池は夏季以外でも年間を通じてアクティビティを楽しむことのできる施設やプログラムの導入
スポーツゾーン	充実させる機能
○海沿いの松林に面し、潮風を感じながらスポーツやレクリエーションを楽しむことのできるゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・広い空間や遊戯場等の機能を活用し、様々な世代の方が様々なアクティビティを楽しむことのできる施設・プログラムの導入 ・既存のスポーツ施設を活用し、新たなニーズへ柔軟に対応できるような施設・機能の充実 ・水路など海を活用したアクティビティの導入。関連施設との連携
歴史景観保全ゾーン	充実させる機能
○日本の名松百選にも選定された歴史ある松林の景観を保全するゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・松林を保全・育成し、地域と共に守り育てる活動の充実 ・美しい松林景観を楽しみながら、「憩い」「集う」ことのできる取り組みの充実（BBQ、健康増進活動等） ・周辺自治体や地元住民等と連携したイベントの実施

<参考>公園の概要

- ・開設面積：75.1 ha
- ・年間利用者数（H30年度）：約175万人
- ・開設年度：明治6年12月24日
- ・主要施設：テニスコート、軟式野球場、球技広場、プール、アーチェリー練習場、ばら庭園、交通遊園、子供汽車、児童遊戯場、漕艇センター、大阪国際ユースホテル
- ・アクセス：
 - 南海本線「浜寺公園」駅すぐ
 - 阪堺電軌「浜寺駅前」駅すぐ
 - JR阪和線（羽衣線）「東羽衣」駅 北西へ約450メートル



①取組方針

公園の特色を活かす

- ・海水浴や潮干狩りなど手軽な海洋レクリエーションやマリンスポーツを楽しむことができる公園
- ・白砂の海岸、歴史ある松林を活用した相乗効果による賑わいづくりを進める

民間活力の積極的導入

- ・民間ノウハウを活用したマリンレジャー、マリンスポーツの普及啓発
- ・テニスコート、遊技場などの施設がさらに充実し、多様なアクティビティを年中楽しめる公園

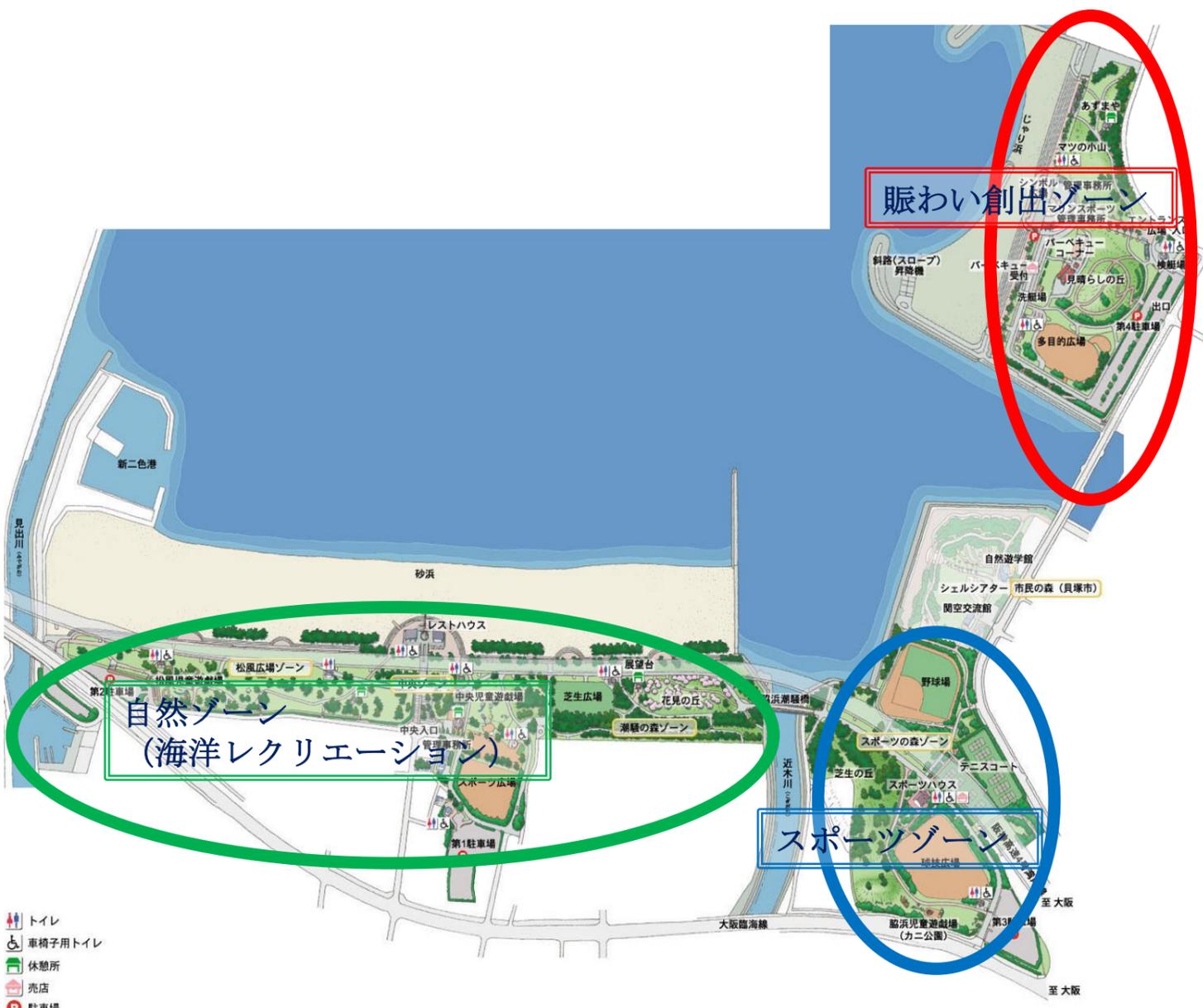
安全・安心・快適

- ・ユニバーサルデザインの充実とともに、良好な維持管理による快適な園内空間を生み出す

都市の環境を保全

- ・砂浜に生育する海浜植物の保全・育成や汽水ワンドの自然再生への取組、環境学習の実践

②ゾーンの設定



③各ゾーンの運営方針

賑わい創出ゾーン	充実させる機能
○手軽にマリンレジャー、マリンスポーツを楽しむことができるゾーン（海浜緑地）	・多種多様なマリンレジャーが楽しめる施設の整備 ・マリンスポーツの安全講習が受講できるプログラムの導入
スポーツゾーン	充実させる機能
○府民の健康づくり、多様なアクティビティを楽しむゾーン（スポーツの森ゾーン）	・カフェやコンビニなどの便益施設の設置 ・多様なスポーツニーズ、多目的の利用が可能となる施設機能の充実
自然ゾーン（海洋レクリエーション）	充実させる機能
○公園のエンタランスであり、潮干狩りや海水浴を楽しむことのできるゾーン ○日本の白砂青松百選に選ばれた松林の保全・育成に努め、魅力ある景観を継承するゾーン	・年間を通じてアクティビティを楽しむことのできる施設・プログラムの導入 ・松林を見ながら、寛ぐことのできる施設やイベントの展開

<参考>公園の概要

- ・開設面積：41.1 ha
- ・年間利用者数（H30年度）：約66万人
- ・開設年度：昭和26年6月1日
- ・主要施設：テニスコート、軟式野球場、球技広場、スポーツ広場、芝生広場、児童遊戯場、バーベキュー場、レストハウス、スポーツハウス、マリンスポーツ管理事務所
- ・アクセス：
 - 【二色の浜公園】南海本線「二色浜」駅 西へ約1.0キロメートル
 - 【二色の浜公園（スポーツの森ゾーン）】南海本線「貝塚」駅 水鉄バス乗り換え「二色住宅」下車
 - 【二色の浜公園（海浜緑地）】南海本線「貝塚」駅 水鉄バス乗り換え「二色大橋西」下車
 - 【市民の森】南海本線「貝塚」駅 水鉄バス乗り換え「市民の森」下車



- トイレ
- 車椅子用トイレ
- 休憩所
- 売店
- 駐車場

■りんくう公園 『関空の対岸という立地を活かし、周辺の集客施設と一体となった観光拠点となる公園』

①取組方針

公園の特色を活かす

- ・日本の玄関口として公園の景観を活かし海外からの観光客に「日本」を感じてもらえる公園
- ・周辺商業施設や駅、ホテル等と連携したプログラムやアクティビティの充実

民間活力の積極的導入

- ・インバウンドも意識した、海を活用したレクリエーション機能の充実
- ・公園の豊かな緑の中で、カフェやショップ、レストランでくつろげる公園

安全・安心・快適

- ・ユニバーサルデザインの充実とともに、良好な維持管理による快適な園内空間を生み出す

都市の環境を保全

- ・海辺の自然景観を守りながら維持管理を進めるとともに、地域と連携した運営を実践

②ゾーンの設定



③各ゾーンの運営方針

賑わい創出ゾーン	充実させる機能
○りんくうタウンアウトレットや駅、ホテルとの連携により公園と周辺地域の賑わいを創出するゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・石舞台や太鼓橋などの既存施設を活用し、ロケーションを活かした各種イベントプログラムの展開 ・国内外からの観光客も呼び込むことのできる内海を活用した生物とふれあう施設機能の充実
自然ゾーン (レクリエーション)	充実させる機能
○日本的な海岸風景である白砂青松を楽しむことができる地域を代表する景観拠点となるゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・日本的な景観を楽しむことができるカフェや泉州特産の魚介を味わうことのできる飲食施設の充実 ・マーブルビーチを活かしたBBQなどのアクティビティの充実

<参考>公園の概要

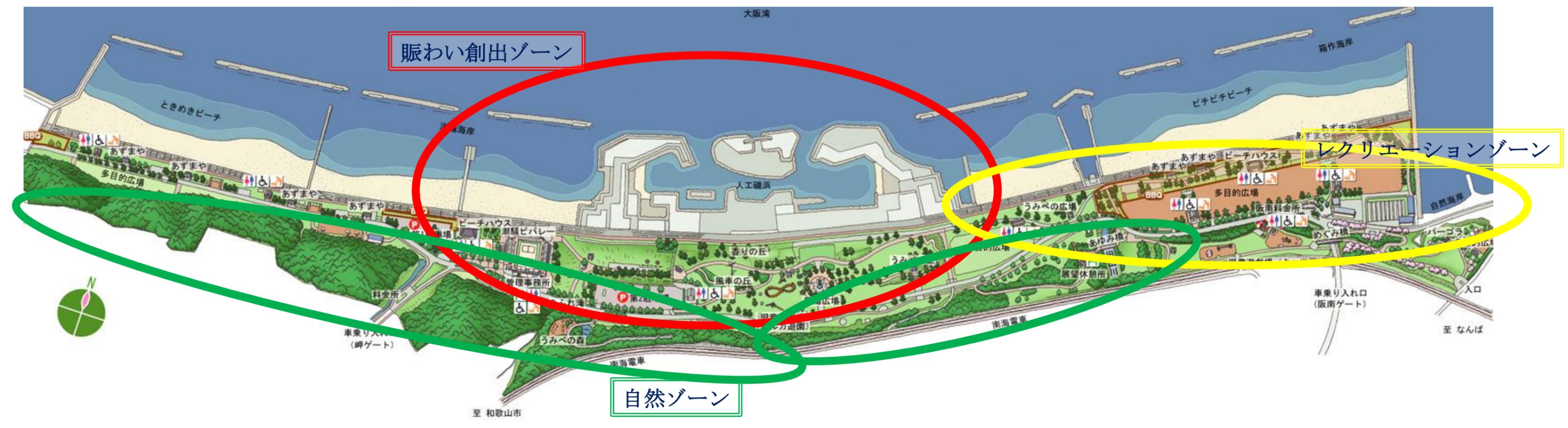
- ・開設面積：19.1 ha
- ・年間利用者数（H30年度）：約43万人
- ・開設年度：平成8年10月1日
- ・主要施設：太鼓橋、内海、花街道、四季の泉、総合休憩所、萩の休憩所
- ・アクセス：J R 関西空港線・南海空港線「りんくうタウン」駅 北西へ約300メートル



周辺見取り図

①取組方針			
公園の特色を活かす	民間活力の積極的導入	安全・安心・快適	都市の環境を保全
<ul style="list-style-type: none"> 海辺の生き物を安全に観察できるプログラムやアクティビティの充実 	<ul style="list-style-type: none"> 地域ボランティア等との連携による、豊かな海の環境を手軽に実感してもらえる公園づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインの充実とともに、良好な維持管理による快適な園内空間を生み出す公園 	<ul style="list-style-type: none"> うみべの森や人口磯浜、しおさい楽習館等を活用し、各種ボランティアとの連携による保全活動や体験型プログラムの提供

②ゾーンの設定



③各ゾーンの運営方針

賑わい創出ゾーン	充実させる機能
<ul style="list-style-type: none"> 「潮騒ビバレー」を活用し、地域の賑わいづくりの拠点となるゾーン 人工磯浜と内海でのマリンレジャースポーツを通じて賑わいを創出するゾーン 	<ul style="list-style-type: none"> ビーチバレー・サッカーの大会開催に対応できるような施設の充実 人工磯浜と内海を結ぶステージ整備による各種イベント・プログラムの展開
レクリエーションゾーン	充実させる機能
<ul style="list-style-type: none"> 潮干狩りや海水浴などさまざまなレクリエーションの場となるゾーン 	<ul style="list-style-type: none"> 各種ボランティア団体との連携による小中学校等の遠足や修学旅行への体験型プログラムの充実
自然ゾーン	充実させる機能
<ul style="list-style-type: none"> 自然海岸林に生息するさまざまな生物や豊かな自然を体験できるゾーン 	<ul style="list-style-type: none"> うみべの森等の適切な維持により、自然環境を活用したイベントの開催

<参考>公園の概要

- ・開設面積：39.9 ha
- ・年間利用者数（H30年度）：約43万人
- ・開設年度：平成9年7月1日
- ・主要施設：ビーチバレー球技場、多目的広場、休憩所、児童遊戯場、デッキ、ボードウォーク、さとすみ磯浜、しおさい楽習館
- ・アクセス：
 - 南海本線「箱作」駅 西へ約1.2キロメートル
 - 南海本線「淡輪」駅 北へ約700メートル



周辺見取り図